

女性部

施設見学会

- 日時：令和4年9月12日（月）午後1時
- 見学先：（公財）愛知臨海環境整備センター（ASEC）
愛知県知多郡武豊町字三号地1番地
- 出席数：11名

女性部（東久保真弓会長）は、（公財）愛知臨海環境整備センター（以下「アセック」という。）衣浦港3号地廃棄物最終処分場への施設見学会を開催しました。

アセックでは管理棟内にて、管理部管理課長 飯田豊司氏と同課の技師 竹中 崇氏から同センターの概要について説明を受けました。

アセックは、愛知県内の公共事業及び産業活動から排出される廃棄物の海面埋立処分事業を行うとともに、廃棄物の安全で適正な処分についての調査研究を行うことを目的に、愛知県、名古屋市などの地方公共団体と民間企業の協力を得て昭和63年に設立された公益法人です。

アセックは廃棄物の受け入れには独自の基準を設け、受入契約から搬入に至るまで、廃棄物を厳しくチェックし、安全の確保に努めています。埋立前には積荷の目視確認、場合によっては展開検査や抜取検査を行い、基準に適合しているか確認しています。

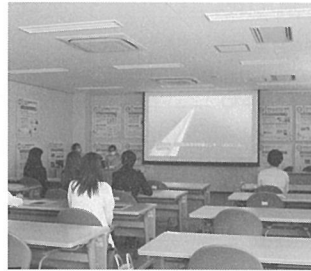
受け入れられる廃棄物の量は、496万 m^3 （ナゴヤドーム約3杯分）で、愛知県全域から一般廃棄物と産業廃棄物を受け入れています。また、受け入れている廃棄物は、ダスト類（ばいじん）、燃え殻、

無機性汚泥、鉍さい、がれき類等です。廃棄物の埋立方法は、埋立当初は『薄層埋立』、薄層埋立完了後は『片押工法』とのことです。

護岸は『外周護岸』と『内護岸』の二つからなり、二重の遮水シートや遮水材等により、廃棄物及び廃棄物に触れた水が外部に漏れ出さない構造となっています。なお、東海・東南海連動地震の耐震照査でも、遮水シートの安全性は確認されています。

アセック概要の説明後、映像を見て理解を深めました。その後、参加者は屋上に行き処分場を上から眺め、改めて処分場の大きさ（約43ha）を実感することができました。

最後に竹中技師を交えて記念撮影を行い、施設見学会は閉会となりました。



アセックの概要紹介の映像を見る



管理棟屋上から処分場を見学



処分場の様子



処分場の様子



右から、アセック管理課 飯田管理課長、竹中技師



管理棟屋上にて記念撮影